

内科専門研修プログラム

サブスペシャリティ重点コース / 老年・総合内科コース

(1) コースの全体像

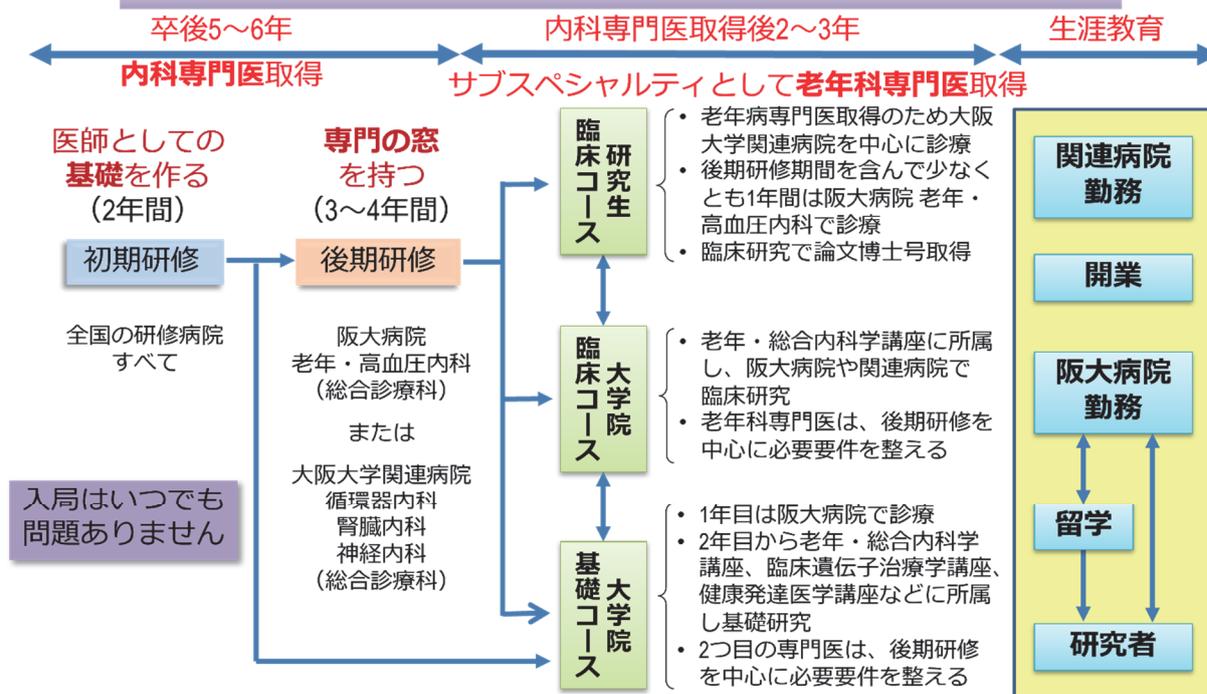
2年間の初期臨床研修の後、卒後3年目より大阪大学医学部附属病院老年・高血圧内科、または大阪大学関連病院にて専門研修（腎臓内科、神経内科、循環器内科のいずれか）を行う。内科専門医とサブスペシャリティ専門医を取得すると共に超音波検査（頸部・心臓・腎ドップラーのいずれか1つ以上）を行えるように指導する。主なキャリアプランとしては、①臨床コース(研究生)、②臨床コース(大学院)、③基礎コース(大学院)に大別される。

- ① **臨床コース(研究生)** 内科専門医を必須とし、各人が専門医研修での専門科についてサブスペシャリティ専門医を取得する。大阪大学関連病院を中心に診療し、臨床研究で博士号を取得する。
- ② **臨床コース(大学院)** 内科専門医を必須とし、各人が専門医研修での専門科についてサブスペシャリティ専門医を取得する。大阪大学医学部附属病院を中心に診療し、博士号を取得する。
- ③ **基礎コース(大学院)** 初期研修終了後、卒後3年目は大阪大学医学部附属病院老年・高血圧内科で診療し、その後大学院へ進学する。卒後4年目から老年・総合内科学講座、臨床遺伝子治療学講座、健康発達医学講座等に所属し基礎研究を行う。各講座で基礎研究を行い、博士号を取得する。

専門医機構による新しい専門医制度が始まっているが、「老年・総合内科コース」においては、基本領域として内科専門医の取得が可能であるが、その他に総合診療専門医の取得も可能である。所定の条件を満たせば、内科専門医と総合診療専門医の両方の基本領域専門医の取得（ダブルボード）も可能である（総合診療専門医に関しては、別途、総合診療専門医研修プログラムを参照のこと）。さらに後述する内科のサブスペシャリティ専門医に対応している。

大学病院が行う研修コースとして常にリサーチマインドを持ちながら、老年科専門医のほか、総合内科専門医、腎臓、神経、循環器などの専門医を取得し、高齢者に対して医学的・社会的に診察を行うことができるプロのプライマリケア医を目指す。

老年・総合内科のキャリアパス



専門医：老年科のほか、腎臓、神経、循環器、（総合診療）など

博士号：大学院（社会人大学院を含む）の課程博士、関連病院での臨床研究による論文博士

(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
大阪大学医学部附属病院	老年・高血圧内科	老年内科	10名	老年診療の基礎技術、全身超音波検査技能、高血圧診療全般の知識・技能の取得	7名	3年
大阪大学医学部附属病院	総合診療科	総合内科				
市立吹田市民病院	神経内科	神経内科	1名	神経変性疾患・脳血管障害全般の高度医療の取得	1名	1～3年
堺市立総合医療センター	糖尿病・内分泌・代謝内科	糖尿病内科	2名	内分泌・代謝疾患全般の高度医療の取得	1名	3年
市立伊丹病院	老年内科	老年内科	3名	老年診療の基礎技術、高齢者の救急診療、高血圧診療全般の知識・技能の取得	1名	1～3年
市立東大阪医療センター	内科・循環器内科・総合内科	糖尿内科循環器内科 総合診療	4名	内分泌・代謝疾患全般の高度医療の取得 循環器疾患全般の高度医療の取得	1名	3年
住友病院	腎臓・高血圧内科	腎臓内科	2名	腎障害・腎不全の診断・治療、透析管理、高血圧診療全般の知識・技能の取得	1名	3年
桜橋渡辺病院	循環器内科	循環器内科	2名	循環器疾患全般の高度医療の取得、特にカテーテルインターベンション技術の取得	1名	3年
阪和第一泉北病院	内科	老年内科	2名	老年診療の応用、PEG・末期医療の管理、介護・福祉との連携知識の取得	3名	1～3年
阪和第二泉北病院	内科	老年内科	3名	老年診療の応用、PEG・末期医療の管理、介護・福祉との連携知識の取得	3名	1～3年
大阪急性期・総合医療センター	総合内科	総合診療	1名	救急・総合内科・感染症内科	1名	2～3年
八尾徳州会総合病院	総合内科	総合診療	1名	救急・総合内科・外傷処置	2名	2～3年
市立池田病院	総合内科	総合診療	1名	救急・総合内科	1名	2～3年
国立長寿医療研究センター	老年内科 神経	老年内科 神経	10名以上	老年内科全般	若干名	1～3年

※養成(受入)人数、期間については、適宜調整可能

(3) コースの実績

専門研修では3年程度のサブスペシャリティの専門研修を受けられる。内科専門医取得後は、老年科専門医の取得を目指す。プレゼンテーション能力を身に付けるべく、複数回の全国総会での学会発表を指導している。また、高齢者の総合内科として、CGA(高齢者総合機能評価)、認知症、フレイル・サルコペニア、老年循環、老年代謝、高齢者遺伝子解析、後方支援など、多方面にわたり、臨床・研究を指導している。子育てを行う女性には柔軟に対応し、博士号や専門医を取得してもらっている。

(4) コースの指導状況

大阪大学医学部附属病院では、臓器にとらわれない豊富な疾患群と年間1000件以上の超音波検査を指導医と共に担当する。学会発表については一連の流れを指導医のもとで経験し、複数回の発表を行い、積極的に論文化することを指導している。また、市中病院や他大学の総合内科との合同カンファレンスや他講座との勉強会などに自由に参加でき、総合内科として診療科を超えた最新の知見を得ることが可能である。また関連病院では、循環器内科、腎臓内科、神経内科などのサブスペシャリティのための研修を選択することが可能であり、各種専門医資格の必要要件を整える。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本内科学会
資格名	内科専門医、総合内科専門医
資格要件	教育プログラムに則った研修3年以上
【学会の連携等の概要】 大阪大学は内科学会認定教育施設であり、老年内科という分野は様々な臓器に疾患を持った患者群を扱うことから症例が豊富である。	

学会等名	日本老年医学会
資格名	老年科専門医
資格要件	専門医機構の認定するサブスペシャリティプログラムの研修
【学会の連携等の概要】 大阪大学および関連施設は日本老年病医学会認定教育施設である。	

学会等名	日本高血圧学会
資格名	高血圧専門医
資格要件	学会の認定するカリキュラムの研修
【学会の連携等の概要】 大阪大学および関連施設は日本老年病医学会認定教育施設であり、二次性高血圧など多彩な症例が豊富である。	

学会等名	日本認知症学会
資格名	認知症専門医
資格要件	学会の認定するカリキュラムの研修
【学会の連携等の概要】 大阪大学は日本認知症学会認定教育関連施設である。	

学会等名	日本循環器病学会
資格名	循環器専門医
資格要件	専門医機構の認定するサブスペシャリティプログラムの研修
【学会の連携等の概要】 大阪大学は日本循環器学会認定教育認定施設である。	

学会等名	日本腎臓学会
資格名	腎臓専門医
資格要件	専門医機構の認定するサブスペシャルティプログラムの研修
【学会の連携等の概要】	住友病院は日本腎臓学会認定教育施設である。

学会等名	日本透析医学会
資格名	透析専門医
資格要件	学会の認定するサブスペシャルティプログラムの研修
【学会の連携等の概要】	住友病院は日本透析医学会認定教育施設である。

学会等名	日本病院総合診療医学会
資格名	日本病院総合診療医学会認定医
資格要件	学会の認定するカリキュラムの研修
【学会の連携等の概要】	大阪大学は日本病院総合診療医学会認定教育施設である。



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 老年・高血圧内科

担当者 鷹見 洋一

✉ rounen-admin @ geriat.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/geriat/www/index.html>

